

医療タイムス

週刊 医療界レポート

2009年7月13日 No.1925

特集 臓器移植法改正

渡航移植減らし国内ドナーの確保へ 今国会での成立目指す審議の行方

Interview

タイムスインタビュー

3年後の同時改定
居宅介護支援費アップを

日本介護支援専門員協会会長

木村隆次氏

クローズアップ
Close up

西洋医学から見て 分かりやすい漢方医学を目指して

慶応義塾大学医学部
漢方医学センター長・准教授

渡辺賢治氏

NEWS

救急・周産期・小児に関する診療報酬について議論

中医協・診療報酬基本問題小委員会

医師不足、国際統計調査でも鮮明に

経済協力開発機構「ヘルスデータ2009」

西洋医学から見て分かりやすい漢方医学を目指して

昨

今、わが国第一線医師の8割はなんらかの形で漢方製剤を使っており、慶応大学病院では各診療科にわたって9割もが使っているという。漢方医学は日本独自に発達した伝統医学だが、西洋医学の立場からはどうも分かりにくい。これをなんとか打開しようという動きが出ている。6月18日にはツムラ主催の勉強会「伝統医学の新たな可能性～文化と伝承における漢方」が都内で開かれた。講師は慶応大学医学部漢方医学センター長で准教授の渡辺賢治氏。この日は「西洋医学から見て分かりやすい漢方医学を目指して」のテーマで講演した。渡辺氏は07年、08年度の厚労省科学研究費を得て、漢方の標準化につながる「証」の疾病分類コード化を実現した、わが国最先端の漢方臨床家。慶大病院の漢方医学センターは30余人の医局員と大学院生を擁する、わが国のトップレベルの漢方センター。目指すは漢方医学のアイデンティティの確立と国際的なハーモナイゼーションの推進だ。渡辺氏は実はわが国漢方医学界の先覚者大塚敬節先生の孫娘の夫であり、また北里大学東洋医学研究所長を務めた大塚恭男先生（ともに故人）の娘婿でもある。したがってわが国漢方医学界の本流ともいえる存在だ。恭男先生の葬儀にあたっては大塚姓で喪主を務めている。

「漢方医学」は日本独自に発達した伝統的医学で、中国の「中医学」、韓国の「韓医学」とともに、東アジアの伝統医学としてそれぞれ独自の存在に位置付けられている。しかし、わが国ではこれがごっちゃに捉えられている。「漢方医学」「中医学」「韓医学」は厳密にいて医学体系、医療制度、教育体系などかなり異なった特徴をもっている。医学体系でみると、漢方医学は江戸時代に実学を重んじるようになり、余計な理論を排除して患者観察を重視するシンプルな医学として発達し、今日まで継承されてきた。一方、「中医学」は古代東洋思想に立脚して複雑な理論体系をもって今日まできている。また「韓医学」は「四象医学」という体質を重んじた医学体系に特色をもつ。このように医療制度も教育制度もまた大きく異なる。しかし、総合的にみて日本独自の漢方医学は東アジア伝統医学の中では最も優れた基盤が築かれており、今後の国際的な

慶応義塾大学医学部
漢方医学センター長・准教授

渡辺賢治氏



わたなべ・けんじ氏。1984年慶応大医学部卒、同年内科学教室入局、88年同助手、90年東海大学医学部免疫学教室助手、91年米スタンフォード大学遺伝学教室留学。帰国後95年に北里大学東洋医学総合研究所。2001年慶応大医学部東洋医学講座助教授。08年同漢方医学センター長・准教授就任。
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

発展性は大いに期待がもてる。

では、漢方医学と西洋医学の本質的な違いは何か？ 渡辺氏はこう解説してくれた。西洋医学は病気の原因（病理）を重視する。その原因をきちんとつきとめた上で診断し、治療を行う。一方、漢方医学は「今その患者がどのような状態であるのか」を重視する。それを「証」という。その「証の決定」は西洋医学における「診断」に相当するが、これはあくまでも原因を問わずに患者の状態を分類したもので、この「証の決定」により漢方処方を選択される。「証」が合わないとき効き目はない。「証」は漢方医学の最も重要な概念だ。この辺が西洋医学からみて分かりにくいとされるゆえんだらう。今回まとめられた国際疾病分類に準じた「証」のコード化は、今後漢方医学を普及していく上で大きな意義をもつもので、WHOでも漢方医学の標準化に向けて大きく踏み出した。慶大漢方医学センターの存在感は今後ますます高まっていきそうである。問診をサポートする人工知能システムの開発や卒業研修のシステム化もその一環だらう。漢方新時代が確実にやってきている。